

CBC NEWS

『いい仕事』を

見つける心

「良かったら使ってください。良かな。僕はもう使わないから。」と手渡されたものは黒ずんだ万年筆二本とインク瓶一個。早速家に持ち帰り、分解掃除をした。ペン先を水に漬け、内にこびりついたインクを完全に溶かす。インクを溜めるスポイトにも水を通して自然乾燥。ペン軸はボロ布に金属磨きを塗り付けてひたすら磨く。何回も繰り返しているうちに、スターリングシルバーの輝きが蘇ってきた。

翌日は組立だ。洗浄したペン先を首軸に差し込み、ブルーブラックのインクを吸い上げる。ピカピカに磨き上げた胴軸に首軸を取り付け、いよいよ試し書きである。思ったよりも若干柔らかいペン先の感触に戸惑いながらもまず螺旋を描いた。インクの流



れも申し分ない。嬉しくなつて自分の名前や住所、はてはヨハネ三章十六節まで書いてみた。暫くペン先の感触を楽しんだ後、キャップをする。カチッとした小気味のいい音。「いい仕事してますねー」。思わず某鑑定士の声色を真似てしまった。

カイロにカメラにボールペン、果ては時計に至るまで、私達は今や使い捨ての商品に囲まれて生活している。要らなくなったら捨てればよい。確かに便利で簡単だ。だが使い捨てのものには概して「情」が移るスペースがない。愛着が湧かないのだ。それに比べる件々だ。その万年筆はいかに面倒だ。だがどんなに面倒でも手をかけ



(T・O)

でもう一度使ってやろうという気になる。手間を惜しまない「いい仕事」をしているからだ。

「兄弟たち、万一だれかが不注意にも何かの罪に陥つたなら、『霊』に導かれて生きているあなたがたは、そういう人を柔和な心で正しい道に立ち帰らせなさい。(ガラテヤ六・九)」「正しい道に立ち帰らせる」という言葉には、「補修する」という用法もあるそうだ。神の手のわざによって造られた兄弟姉妹の内にある「いい仕事」を見出し、それを磨き上げてあげる事、それが『霊』に導かれて生きている「神学教師のつとめだ。」「駄目だから捨てる」ではなく「駄目なら直す」。銀色に輝く私と同じ年のパークーを見ながらそんなことを考えた。

静心

CBCの一人のブラジル人であるアシス・ロベスでござる。

去年入学したことを感謝！感謝！しかし、この最初の一年は非常に大変だったのです！イロイロ起こりましたよ！あああッ！もう駄目だッ！難しいッ！フオオッ！という嘆きの叫び声もありましたが、毎日毎日神様が一緒に居て下さいました。ある日、「お前が私を選んだのではなく、私がお前を選んだ」と神様の優しい声が私を励ましてくれました。(涙)やあ、CBCの神学生になって良かった！牧師になる為だけではなく、イエス・キリストをもっともっと知る為にこの学校の訓練を受けています。日々の祈り、作業、奉仕、学び、他の神学生との交わりを通して日々成長し、また主の召しに応えたいと思っています。その為に「今は祈り、主の御心を求め求めるものとなります」ってこと。

CBC NETWORK

- ・三月六、十八日、新四年生による恒例のキャラバン伝道が行われた。今年は九州巡回。
- ・四月一日、第五回入学式が行なわれ、四名の新入生と一名の関東分校からの進級生が入学した。分校では関東分校生一名が入学した。
- ・四月一日、校長兼教務に北野師、学監に菊地師、学生主任に堀川師、舎監に大坂師をむかえ、新体制のもと、新年度の活動を開始した。
- ・四月三、四日、聖別会が行なわれた。講師はグビデ・ハイムス師。
- ・四月四日、CBCの学校事務を一年間務められた田中久美子師の送別会が行なわれた。
- ・四月二、一日、春の防災訓練が実施された。
- ・四月二、四日、APT Sの仏教研究主任、アラン・ジョンソン師がチャペルで奉仕された。
- ・四月二、八、二九日、CBCの学生五名が東海聖会において奉仕に参加した。
- ・四月三、〇日、『i-c l a s s』ヘインターネット授業』が導入された。授業は「ギリシャ語II」、「ヨハネ福音書」が対象。
- ・五月七日、パーキンス師がチャペルで奉仕された。
- ・五月二、六日、超教派の神学生親善ソフトボール大会に学生が参加。他校との交流を深めた。
- ・五月三、〇日、拡大日本ペンテコステ協議会がチャペルにて開催され、佐布正義師が講演の奉仕をされた。
- ・六月二、日、学生運動部主催のスポーツ大会が行なわれ、学生、教師が共に汗を流した。
- ・六月七、日、八名の学生が誠志会病院を訪問。各病室をまわり賛美と祈りの時を過ごした。
- ・六月二、六日、CBC教師の北野ジョイス宣教師がアメリカに宣教報告のため一時帰国された。

後援会のご案内

中央聖書神学校が教団の伝道者養成機関として発足以来、すでに五三年を数えておりますが、その間多くの方々のご協力と献げ物と奉仕によって幾多の伝道者、働き人がこの学舎から輩出されたことは感謝であります。

さらに学校の設備に充実とゆとりのある運営がなされるためには、多くの方々のご賛同を必要としております。どうぞその点をご理解いただき、是非本会にご入会くださる様に心よりお願い申し上げます。

中央聖書神学校後援会

会長 山田 貢

後援会入会要領

個人会員 一口年五千円
法人会員 一口年一万円

☆連絡は中央聖書神学校内
後援会宛にお願いいたします。

編集

後記

依然として勢いを増す一方のIT革命。いつ何処に居ようとも情報には事欠くことはない。

それゆえ日本の現代は、本当に価値のある有益な情報のみをろ過して選びとる事が困難な時代の中にあると思う。虚偽または事実が大きく歪曲された情報に惑わされないように、良質のものだけを選び取る為の知恵を頂いていく事の大切さを日々実感させられる。

受け取る上に、さらにそれを伝えていく立場にあるものとしてどうあるべきか？日々自問自答：否、主問主答の毎日である。

(T・S)

編集スタッフ

平松 徹 宮澤 幹彦
山岸よしあ アシス・ロベス
新保 孝史

編集責任者 白石 植男
事務局 中央聖書神学校
豊島区駒込三二一五二〇
TEL 〇三三九一八四九二五
FAX 〇三三九一八四〇九九

キャラバン伝道の証し in九州～北から南から～

「意外と寒い、3月の九州」
四年 菊池 亘

今年は、三月の七日～十七日にかけて、九州に二グループに分かれてキャラバンで訪問させていただきました。私のチームは私を含む学生四名が、北野先生の引率の下に、北部九州を中心に巡回させていただきました。

気温があまり上がらない日が多く、寒い日が続いた時だったのですが、迎えてくださった教会はみな、とても暖かく迎えてくださったので、そのコントラストがとても印象的なキャラバンでもありました。

そして、楽しかった思い出と共に、九州の教会の現状や、またその中で信仰を伝えておられる先生方や信徒の方々から、実践的に多く学ばせていただきました。とくに印象的だったのは、どんなところ

九州は素晴らしい
四年 越智 晃

九州は素晴らしい。自然が豊かであり、空気も水も美味しい。特に南部は温泉が多く、疲れた体を癒してくれる。食べ物も美味しい。野菜を生で

その地で、私たちの先輩の姿を見た。失敗と成功を繰り返しながら、粘り強くユニー



かじつても、甘みが口の中に広がる。こんな九州にキャラバンに行った私たちは、幸せ者であった。

しかし、遊びに行ったわけではない。教会で精一杯奉仕させていただいた。神学校で培われたものが活かされ、仕える喜びを味わった。学生伝道集会で訓練された聖書物語スキットもした。箱踊りもした。いろいろな奉仕を体験させていただいた。その中で、足りなさも感じた。それは隠しようのないことである。

お世話になりました。
主の祝福をお祈り致しております。

《北部チーム巡回教会》
西九州伝道所・唐津聖書教会・北九州シオン教会・下関シオン教会・博多ニューライフチャーチ・直方キリスト教会・海老津シオン教会
《南部チーム巡回教会》
人吉キリスト教会・熊本聖書教会・希望ヶ丘教会・川尻キリスト教会・本渡基督教会・牛深キリスト教会
広島基督教会にて最終合流

私たちの献身

四月一日、CBCに新しい献身者が加わりました。



生武咲栄

「自分の十字架を負うて、私に従ってきなさい(マタイ六二四)」これが、私に神学校へ行くことを決意させた御言葉です。正直に言うと、私にとってこの言葉は簡単なようで、とても難しい言葉でした。けれども、イエス様の十字架の愛と、十字架上でのとりなしの祈りを思うとき、私はこの御言葉を素直に受け入れて歩もうと決

めでとう
ます！

. 4 . 1



意し、神学校の門をくぐりました。まだ、私の歩みはスタートしたばかりです。神学校での三年間の学びを深めると共に、これから先どんな時でも、この御言葉に従い、また神様の御心が何であるか、御言葉と祈りによっていつも教えていただきつつ、前進してゆこうと思います。(姫路キリスト教会)



川野由紀

私は献身を出来ることなら避けたいと思っていました。ですから献身が本当に私に語られたことなのか、本当に献身が御心なのか、なぜ私を呼ばれたのか、と、祈り尋ねたものでした。私はそのような人生はとも考えられませんか。と拒み続けていました。そして、そのようなことを繰り返した末にキリストの愛が私を押し出してくださいました。私を救ってくださった方に仕えていく、と決断するに至りました。その時神様は心に深い平安を下さいました。私を慰め力づけて下さいました。しみじみ感謝です。

神様の恵みにより洗礼を受けた次の年、私は夏のキャラバンに来ていた神学生の生き生きと伝道している姿に憧れを抱きました。私の献身への思いはここから始まったのです。

正直に言うと、私の思いで献身しようとしているのではないだろうかと不安な気持ちがあり、決心がなかなかできずにいました。しかし、主はそんな弱い私を知っておられ、生武和子先生の献身のお証しを聞く時を与えられ、先生を通して語り「主にいつも用いていただく器」として歩む決心へと導いて下さいました。

「私についてきなさい。人間をとる漁師にしよう」と力強く呼



四戸久美

って仕えるものでありたいと願います。(七條基督教会)

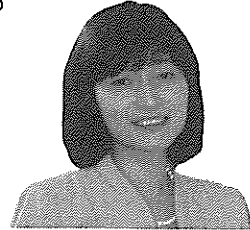
☆☆☆教職インタビュー☆☆☆

野川 悦子師 Vol.11

今回は、中央聖書神学校の講師であり、港南シオンキリスト教会の牧師である野川悦子先生にお話をお伺いしました。野川先生の魂に対する熱い情熱、そして良き牧会者としてのあり方を先生の姿を通し、教えられています。野川先生は今年度の前期において「牧会論」、後期には「個人伝道法」を教えてください。

新聞部：牧会者であると同時に、CBCの教師でもある野川先生の目指す教育の目標は何でしょうか。

野川師：私はまだ教師になって日が浅いので大層な事を持ってはいないのですが、クラスではいつも皆に「本当にいい牧師になってもらいたい」と言います。神学校を卒業したら終わりではなく、絶えず祈りと自己研鑽して、神様と魂を愛し、仕えられる良い牧師を目指す人になって欲しい、というのが教える根底にあります。



新聞部：講義を通して学生に伝えたい事は何ですか。

野川師：私は牧師なので、どんな授業の中でもなるべく実際に自分が体験してきたものを伝えたいと思っています。この世をどれほど神様が愛し生きて働いて下さっているか、その素晴らしさや、自分の足りなかった事や失敗談、良い事も悪い事も、分かち合い伝えたいと思っています。

新聞部：牧会者としてのこれからビジョンは何ですか。

野川師：兄弟姉妹と共に神様の願っておられ喜んでくださる教会を建て上げていくことでしょうか。

新聞部：具体的にはどういうことでしょうか。

野川師：救われた方々が群衆の一人としてイエスさまに付いて行くのではなく、それぞれがキリストの弟子となっていく教会であつたら、と思います。また、今はセルを取り入れようとしているところです。

新聞部：野川先生が支えにしている御言葉がありましたら、教えてください。

野川師：召命の御言葉は、Ⅰペテロ 5:2 で、牧師としてはⅡテモテ 2:15「あなたは真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない錬達した働き人になって、神に自分をささげるように努めはげみなさい。」です。

新聞部：CBCの学生に対して一言お願いします。

野川師：とにかく召命を徹底的に確認されたら良いと思います。なぜなら卒業後、必ず挫折や迷い、倒れるときがあるからです。自分のだめさが分り、どんなにやっても結果が出ず、信じていた者から裏切られる時、最後にそれでも立ち上がれるのは、その私を承知で召して下さったという神様の召命だけなのです。この召命を学生である間、何度も何度も確認していければ良いと思います。

新聞部：最後に、献身しようとしている方々に一言お願いします。

野川師：私自身が献身しようと悩んでいた時に、母教会の牧師先生がこのようなアドバイスをしてくれました。「世の中には、不幸なことが二つある。一つは召されていないのに召しだと思い、牧師になる事(神学校に行く事)。もう一つは、召されているのに召しの道に歩まず、神学校に行かない事。」この二つは不幸です。だから祈って確信を握り進んで下さい。

新聞部：ありがとうございました。

私たちの献身

ご入学お
ござい
2003

んでくださる主に、教会の皆様
の愛にいつも感謝の思いを持
つて生涯、神と人に仕えていき
たいと思います。

(山手町教会)



新保孝史

二〇〇一年一月二〇日(日)、
教会の礼拝で「私は、あなたを
胎内に形造る前から…」という
エレミヤ書からのメッセージ
が語られ、主への献身の思いに
促されました。しかし、当時の
私はその実行が許される生活
環境にはありませんでした。

しかし、その時の今までにな
い程の強い召命感に、こんな私
でも良いなら主に私の重荷を
負っていただく代りに、主の重
荷を負わせて欲しいという祈
りへと導いていただきました。主は
真に応えて下さるお方です。そ
の祈りと、献身の告白とを境に、
道を塞いでいた問題が改善さ
れていき、今の学びと訓練の生
活に導かれたのです。主に感謝
(松任キリスト教会)



峯岸邦子

ハレルヤ、主の御名を心より

賛美致します。

一九八五年九月二二日に洗
礼を受けてクリスチャンにな
りました。洗礼より早く聖霊の
バプテスマを受けていた私は、
聖霊様が与えて下さる喜びを
通して神は生きておられると
いう事を、日々実感していまし
た。そして、この喜びを私だけ
でなくもっと多くの方に知っ
てもらいたいと思う様になり
ました。そのような思いで祈っ
ている時、神様は私に直接「私
の証し人になりなさい」と心に
語り掛けて下さり、同年一二月
に「わたしについて来なさい。
あなたがたを、人間をとる漁師
にしてあげよう。」(マタイ四・



中央聖書神学校学生募集

主の御声を聞いている者よ、来たれ！

- 入学資格：洗礼後2年以上を経た忠実な教会員
高校卒業以上
 - 住 所：〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
 - 電話番号：03-3918-4925
 - <http://www.cbc-j.ac.jp>
 - 早期入学願書〆切：10月28日(火)・早期入試日：11月25日(火)
- 入学案内は学校事務所にお申し出下さい。

十九)の御言で伝道者としての
召しを受けました。今から十八
年前に頂いた献身の思いです
が、全くその思いが消える事な
く私の心の中に燃え続けてい
た事は、まさに神は生ける神と
言えるでしょう。感謝です。
この度入学という恵みを頂
き、与えられた良き学びを通し
て、神様の期待に応えられる様
に祈りつつ励んで参りたいと
思います。(溝ノ口キリスト教会)